

第 8 回 潟 上 市 教 育 委 員 会 定 例 会 記 録

開催年月日	令和 8 年 8 月 26 日（水）
場所	潟上市役所 2 階第 1・2 会議室
会議時間	午前 9 時 55 分～午前 11 時 25 分
出席委員	吉原慎一教育長、稲荷一清教育長職務代理者、佐藤賢一委員、 佐藤有加委員、今田智範委員
欠席委員	なし
会議案件説明 のため出席し た者の氏名	伊藤強教育部長、佐々木達也教育総務課長兼教育監、 渋谷比奈子文化スポーツ課長、渡部仁教育部課長待遇、 小林敦子学校教育班長
会議書記の職 氏名	教育総務課 総務学事班長 佐藤 陽子
付 託 案 件	<p>報 告</p> <p>（１）教育長報告</p> <p>（２）各課長報告</p> <p style="padding-left: 2em;">①教育総務課</p> <p>（３）令和 7 年度決算報告</p> <p>協 議（秘密会）</p> <p>（１）協議第 6 号 令和 8 年度 9 月補正予算（案）の概要</p> <p>審 議</p> <p>（１）議案第 13 号 潟上市公民館条例施行規則の一部を改正する規則 （案）について</p> <p>その他</p>

会 議 の 経 過		
教育長	9:55	<p>それでは、第8回潟上市教育委員会定例会を開会いたします。私から御挨拶を申し上げます。</p> <p>今月の初めに梅雨が明けてから、しばらく夏らしい天気が続いています。委員の皆様は夏を満喫されたでしょうか。23日の日曜日には天王グリーンランドまつりも開催され、夏の終わりの夜空を大輪の花火が彩りました。来週からは、もう9月を迎える時期となりました。この間、委員の皆様には御多忙のところ二十歳のつどいや各種研修会等に御参加いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>さて、一昨日学校が再開され、子どもたちの歓声が戻ってまいりました。大豊小学校の様子が、新聞、テレビで報道されていました。夏休み期間中、学校から大きな事故の報告はなく、どの子どもも充実した夏休みを過ごせたことと大変うれしく思っています。</p> <p>この休み期間中は、潟上三大夏祭りや各町内会の盆踊りなど、地域の伝統的なお祭りにも多くの子どもたちの姿がありました。どの祭りにおいても地域全体で子どもを育てていこうという温かい思いが感じられ、うれしく思いました。</p> <p>また、子どもたちの頑張りでうれしいことが2つありました。1つは、8月15日に行われた「ナイスカップ・小学校クラブ野球大会」で、天王出戸ビクトリーズが準優勝に輝いたことです。鶴舞野球クラブに序盤リードされながらも、逆転に次ぐ逆転の大接戦の末、残念ながら逆転サヨナラ負けを喫してしまいました。しかし、子どもたちの最後まで諦めずに粘り強く戦う姿勢に心を打たれました。</p> <p>もう1つは、鳥取県倉吉市で開催された「全国中学校 相撲選手権大会」です。大会に出場していた羽城中の生徒が、23日に行われた個人戦で4回戦まで勝ち進みましたが、残念ながらそこで敗れてしまいました。全国優勝を狙いますと言っていただけに悔しいだろうと思いますが、今後ますます精進を重ね、将来につなげていってほしいと思います。</p> <p>このような子どもたちや、二十歳のつどいに参加した若者を見ると、本市の将来を担う次世代は頼もしく成長していると感じます。そして、地域全体で若者を支えていくことの重要性を改めて痛感します。若者がそれぞれの夢に向かって突き進む姿は、地域社会に大きな活力と希望を与えてくれるものです。教育委員会としても、こうした若者たちの学びと挑戦を全力で支援してまいりたいと思っています。</p>

		<p>来月 9 月は来年度を見据えつつ、これまでの成果と課題をしっかりと整理し、下半期の教育行政をさらに前進させる重要な時期になります。委員の皆様の御指導をいただきながら、年間のまとめに向けて取り組んでまいります。本日もどうぞよろしくお願いいたします。それでは次第に従いまして会議を進めてまいります。</p>
教育長		<p>次第の 2、会議録署名委員及び書記の指名を行います。</p> <p>潟上市教育委員会会議規則第42条の規定により、会議録署名委員には、私と佐藤賢一委員にお願いいたします。書記は教育総務課の佐藤班長にお願いします。</p>
教育長		<p>次第の 3、会期の決定についてお諮りいたします。</p> <p>会期については本日 1 日限りとしたいのですが、御異議ございませんか。</p>
全委員		<p>異議なし。</p>
教育長		<p>会期については本日 1 日限りといたします。</p>
教育長		<p>協議事項第 6 号については、今後議会に提出され審議される案件であり、決定前の情報が公になることで議会での適正な審議に影響を及ぼすことが考えられるため、これらの案件については「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第 7 項ただし書の規定により、秘密会として取り扱う案件とし、日程の最後に審議したいと思いますと思いますが御異議ございませんか。</p>
全委員		<p>異議なし。</p>
教育長		<p>全会一致で、協議第 6 号については、秘密会で審議することといたします。</p>
教育長		<p>次に次第の 4、委員会への報告に入ります。</p> <p>(教育長報告 教育長動静について)</p>
教育長		<p>ここまで御質問等はございますか。</p>
全委員		<p>なし。</p>

教育長		<p>それでは次に各課長報告です。教育総務課から報告をお願いします。</p>
教育総務課長 兼教育監		<p>(教育総務課)</p> <p>①全国学力・学習状況調査の結果について</p> <p>②市学校運営協議会全体会について</p> <p>③市立中学校3校合同夏季集中講座について</p> <p>④市教職員研修会について</p> <p>⑤市支援員研修会について</p>
教育長		<p>続いて文化スポーツ課から報告をお願いします。</p>
文化スポーツ 課長		<p>資料はありませんが、二十歳のつどいについて報告いたします。二十歳のつどいが8月15日に開催されました。今年度の対象者は305名で、当日の参加者は198名でした。参加率は64.9パーセントでした。潟上市内の中学校の卒業者だけで見ると、参加率は78パーセントとなっており、ともに前年度と比較すると、増えている状況です。</p>
教育長		<p>ただ今の報告について、何か御質問はございますか。</p>
委員		<p>全国学力・学習状況調査の「児童生徒質問紙調査」における「新聞を読んでいる」という項目についてですが、これは家庭で新聞を定期購読しているかどうかまでを尋ねているものでしょうか。</p>
教育総務課長 兼教育監		<p>尋ねておりません。</p>
委員		<p>新聞を購読している人が減ってきているので、この項目の値が減少していくことは、やむを得ないことかなと思います。単に読んでいるか否かだけでなく、家庭における新聞の購読状況についても、併せて調査項目として検討いただきたいと思います。</p>
教育総務課長 兼教育監		<p>新聞を購読している家庭が減ってきているというのは事実かと思います。各学校の図書室等に新聞は置いているので、目にする機会はあると思いますが、子どもたちが新聞をどれぐらい読んでいるかという実態については、このような状況だろうと考えます。</p>

教育長		<p>新聞に関しては天王小学校でNIE活動に取り組んでいます。例えば学校の図書室にある新聞をコピーして、いろいろな時間に触れて読ませてみるなどの取組ができればよいのかなと思います。</p>
教育長		<p>ほかにありませんか。</p>
教育長職務代理者		<p>初めに、全国学力・学習状況調査についてです。資料の3ページの小学校国語の結果を見ると、「自分の考えをまとめる力」や「表現力」については、中学校も含めて十分な状況ではないと思います。国や県と比べると劣っています。読書の量、読書の質が表現力に非常に関わっていることは明らかなです。資料8ページ下の読書の時間を確認すると、読書時間は昨年より時間数的には増加傾向にあります。これを踏まえて読書をする時間を増やし、読書する児童生徒が増えていくとよいと感じます。</p> <p>単に読書をするだけでなく、読書後に10分でも20分でも、1行でも2行でも感想や意見を書くということ、朝学習や昼の学習の時間に取り入れると、まとめる力や表現力が高まると思います。読書の推奨に加え、読んだ内容をまとめて書く取組も進めていただければと思います。</p> <p>また、資料1ページの中学校英語の学力も厳しい状況にあります。全県的にも英語が全国より劣っているということで新聞に載っていました。必然性のある学習をしないと英語の力が付いてこないと思います。ALTの先生を活用し、どうしても英語で喋らなければいけないような時間を増やしたり、英語を話せるボランティアの方を活用し子どもたちが日常的に英語に接する機会を数多く設けるべきと考えます。</p> <p>2つ目は学校運営協議会全体会についてです。この学校運営協議会全体会で、地域学校協働活動は支援から連携・協働という方針に変わっているという紹介がありました。平成27年の中央教育審議会の答申にもあるように、学校に何か援助や支援をするということではなく、連携・協働して地域全体を考えた取組をしていくという考えです。</p> <p>今回の運営協議会では、それぞれの学校でどんな取組ができるのか、また、明日からでもこんなことをやろうという取組を話し合いました。それをまとめたものを表にしています。委員の方々が地域に行ったときにこういう取組を進める応援をしていただければありがたいと思います。</p> <p>学校運営協議会の委員については、ほかの会の委員を兼務し</p>

<div data-bbox="165 1128 359 1216" data-label="Text"> <p>教育総務課長 兼教育監</p> </div> <div data-bbox="165 1608 359 1695" data-label="Text"> <p>教育長職務代 理者</p> </div> <div data-bbox="165 1989 263 2027" data-label="Text"> <p>教育長</p> </div>		<p>ている方が多く、人材不足についての指摘も挙がりました。また、会議の中で、協議会としてやりたいことがあれば教育委員会に直接話してもいいという講師の先生からの話もありましたので、協議会のほうから教育委員会にそういった話が今後あるかもしれません。</p> <p>3つ目は、市立中学校3校合同夏季集中講座についてです。68名参加ということで、参加率もよくうれしく思います。学習・受験に向けてのきっかけとなったのではないかと思います。学校全体、市全体で取組をしていくと今後につながると思いました。</p> <p>4つ目は、市教職員研修会についてです。AIの活用についての研修会や、初任者から3年目の若い教員に向けた研修など、教職員の気持ちに沿ったよい分科会であったと感じました。このような研修会がいろいろなところで行われると若い教員も年配の教員も社会や教育の改革の変化についていけるのではないかと思います。</p> <p>質問ですが、毎年県市連携では各学校からの要望に基づいて研修を行っていると思いますが、どのような研修を県市連携で行っているのかお伺いします。</p> <p>今回の研修の5つの分科会テーマの設定も、過去に各学校のニーズが高いもの、先生たちが興味をもっているものの中からピックアップしました。自分が参加したい分科会を選択し研修を受けてもらったため、参加した先生方からも好評でした。</p> <p>さらに今回は県市連携の枠の一つとして、この5つの分科会を設定しましたが、各校独自に県市連携の枠の中で、自校の課題を解決するために、例えば特別支援であったり、個別最適な学びであったりというほかのメニューを選択して研修を深めている学校もあります。</p> <p>教育センターには素晴らしい指導主事がたくさんいますので、いろいろなところで活用していただければと思います。また、県市連携でやると全校の教職員が集まらなければいけないような意識がありますが、研修を必要とする先生が4、5人で集まっても県市連携で研修ができるように、少人数の利用もできるということも学校に宣伝していただければ、さらに人材の育成になるのではないかと思います。</p> <p>全国学力・学習状況調査については、英語が好きだという項目の値が低い状況でした。英語を使う必然性を生むような状況</p>
---	--	---

委員	<p>や場面を作っていく学習方法、地域人材の活用など、分析しながら取り組んでいかなければいけないと思っています。</p> <p>今年の調査結果を見ると、英語でIRTスコアが導入されており来年度以降は全教科に拡大されるという報道があったと思います。このIRTスコアとはどのようなものなのか教えてください。</p> <p>また、英語に関してですが市の学校訪問時に中学校ではたくさん英語の授業を見ました。小学校も外国語活動が1校と外国語科の授業が2校程度あったと思います。成績を伸ばすためには小学校段階における英語授業の底上げが重要であり、ここで英語に対する好き嫌いも出てくると思いますので、小学校の英語の授業が重要になるのでないかと感じていました。</p> <p>小学校に外国語活動支援員が配置されるようになって授業が少しは変わったのかその辺りの状況も教えていただきたいです。また、できれば小学校でも英語で1時間進行できるような形が望ましいのかなと考えます。</p> <p>教育のウェルビーイングに関してですが、新聞では質問紙調査の結果が秋田県は全国トップという報道が以前出たので、それと見比べながら見ていました。5ページの「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」という項目が今年は県よりも全国よりも小・中学校とも大きく下回っている点が心配になりました。昨年まではほぼ同じか、もしくは上のところもありました。教師と子どもたちとの関係構築が不足しているのではないかと思う項目でしたので、この項目についても分析しながら対応策を考えていただければと思います。</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果について、「選択式問題の正答率は基準を上回っているものの、記述式問題における無回答の多さが課題である」との御説明がありました。また、先ほどは読書の「量」や「質」に関するお話もありました。やはり問題になっているのは読解力かと考えます。問題を読む力も表現する力も「読解力」にあり、読解力の向上が本市の重点的に取り組むべきポイントではないかと思っています。</p> <p>最後に、朝食の件が7ページに出ていました。この後全市小学校で40分授業午前5時間制を導入するにあたり、大きく結び付く項目だと思います。研究開発学校の指定を受けている東京都の目黒区では、この40分授業午前5時間制は学力の向上と合わせて生活習慣の改善についても大きな影響をもつ重点項目としているようです。この制度を始めるときには保護者に給食の時間が遅くなるということと併せて、朝食をしっかりをとることを説明していただければ、生活習慣も学習もよくなっていくの</p>
----	--

<p>教育総務課長 兼教育監</p>		<p>でないかと思います。</p> <p>質問をまとめると、IRTスコアに関して分かっている情報があれば教えていただきたいということと、小学校の外国語活動支援員の役割、授業にどの程度関わっているのかということの2点について教えていただければと思います。</p> <p>IRTスコアとは、IRTという基準に基づいて各設問の正答、誤答のパターンの状況から学力を推定するものです。500が基準になっています。本日配付した資料では、全国の数値が499となっており、ここを基準の500として見た場合、県も潟上市も少し下回っている状況です。</p> <p>このIRTスコアについては、問題の難易度という特性と、テストを受ける生徒の能力を切り離して測定・分析し、異なるテストであっても共通の尺度で学力を測るものです。正答数だけで評価する従来の方式とは異なり、基準となる平均値を500に固定した共通の尺度を用いて、問題の枠組みを超えた学力の推移を正確に測定していくものと捉えています。</p> <p>外国語活動支援員については小学校5校に対し2名雇用しています。加えて小学校で1名、中学校で1名の英語の専門監もいますので、各小学校の外国語活動に支援員、専門監、ALTが加わりながら充実した外国語の授業が展開されていると認識しています。</p> <p>先ほど英語漬けの時間があってもいいのではないかということでしたが、小学校では授業によって日本語を使わず英語だけで進めている場面もあるようです。小学校では「話す能力」が求められるようになってきているため、小学校で感じた難しさをそのまま中学校に引きずっているところもあるかもしれません。英語だけではなくほかの教科もですが、楽しい、分かるという経験を小学校のときから積み重ねていくことが必要ではないかと考えます。</p>
<p>教育長</p>		<p>小学校で英語が好きだとか面白いといったことを感じられるような、英語に対する興味関心が湧くような活動が必要かもしれないと感じています。</p>
<p>委員</p>		<p>IRTスコアですがつまり平均500ということで、今までは平均正答率はその年によって大きく違ったけれどIRTスコアにすると毎年500ぐらいなので、年度による比較もできてくるということですか。</p>

教育総務課長 兼教育監		そのとおりです。
委員		学力が定着していない児童の存在、及びそれに伴う「二極化」の傾向が生じている可能性について懸念しています。仮にそのような傾向や関連する情報・データ等があれば、教えていただきたいです。
教育総務課長 兼教育監		<p>秋田県が進める「探究型授業」を全ての学校で進めているため、個で学ぶ場面、ペアで話し合う場面、グループで考え方を深める場面というものを授業の進度、評価の特性に応じ取り入れています。潟上市の学習指導改善の一つの課題として、学習規律の定着が改善のポイントでした。子どもたちが授業に向かう態度や姿勢、授業中の取り組み方など規律の整わない部分があることが、昨年度の年間を通じた各学校の研究主任からの反省として挙げられました。</p> <p>今年、年度が変わったことで改善できたかという点、一足飛びによい方向に向かうことは難しいかもしれませんが、各校で一つの課題として捉えています。先ほどの秋田の探究型学習もそうですが、学習規律の定着もこういったところに関係しているかもしれないと考えます。学力に直結するかは別かと思いますが、学習規律を整えて落ち着いた環境で授業に臨めることは、とても大事なことでと考えていますので、引き続き各校に伝えていきたいと思っています。</p>
教育長		学習に関してはいろいろな課題があり、今年から授業の底力プロジェクトを始めたところです。授業の中で1人1人が自分にもできるとか分かったとか面白いとか、そういう達成感が得られるような授業をやっていくことで子どもが変わっていき学級が変わっていき、そして学校が変わっていきと考えます。
教育長		ほかにありませんか。
全委員		なし。
教育長		次に報告3、令和7年度決算報告です。事務局から報告をお願いします。
教育部長		(説明)

教育長		ただ今の報告について、何か御質問はございませんか。
教育長職務代理者		<p>公民館や体育館が多数設置されている印象を受けました。毎年多額の費用を投じて維持・改修を継続することは大変なことだと思います。また、施設の有効活用や稼働率の向上が図られれば、持続可能な改修計画の推進につながると思います。</p> <p>校務支援システムを導入して1年経ちましたが、使い勝手はどうかお伺いします。</p>
教育総務課長兼教育監		<p>通知表への反映や出席の管理、指導要領上の記録の反映などようやく今年度、全ての学校で足並みを揃える方向で動いているところです。まもなく前期が終了しますので、前期の成績処理を通知表に反映させるところで活用していくことになると思います。今後はより効率的な出勤の管理、成績処理のあり方等について学校の使い勝手をリサーチしながら、揃えるところは揃えながらやっていきたいと考えています。</p>
教育長		ほかに何かございますか。
全委員		なし。
教育長		<p>それでは次に、次第6、審議に入ります。</p> <p>議案第13号 潟上市公民館条例施行規則の一部を改正する規則（案）についてです。事務局から説明をお願いします。</p>
教育部課長待遇		（説明）
教育長		ただ今の説明について、何か御質問はございませんか。
全委員		なし。
教育長		<p>なければ、議案第13号 潟上市公民館条例施行規則の一部を改正する規則（案）について、承認することといたします。これに御異議ございませんか。</p>
全委員		異議なし。
教育長		御異議がないようですので、議案第13号は承認いたします。

教育長		次に次第の 7、その他に入ります。各課から何かありますか。
各課長		なし。
教育長		委員の方から何かありますか。
教育長職務代理者		<p>今回の熊本地震に関連し、各学校の防災マニュアルについて発言します。学校の防災マニュアルの中で、避難訓練時だけでなく、実際の地震が発生して避難した後の対応についてですが、これまでは十分な安全確認をしないまま、児童生徒をすぐに校舎内へ戻す対応がなされてきました。8校の防災マニュアルを確認したところ、追分小学校のマニュアルにははっきりと、安全を確認した後に大丈夫であれば学校の方に戻す、ということが明記されていました。明記するしないで、今後の各学校における取組方が違ってくると思いますので、教育委員会から各学校に対し、防災マニュアルの見直しを行うよう働きかけていただきたいと思います。最終的に校舎内の安全確認を誰が行うのか、その点も協議の上、各学校へ指導していただきたいと思います。</p>
教育長		<p>各学校のマニュアルをこちらでもう一度点検し、最終的に安全を確認するのが誰かというところを示しながら避難後の対応についても検討して記載するようにしていきたいと思います。</p>
教育長		ほかに何かございますか。
全委員		なし。
教育長		<p>次回の日程について調整をしたいと思います。 ～日程調整～ 9月28日（月）午前10時00分でいかがでしょうか。</p>
全委員		よろしいです。
教育長	11:20	<p>次に、先ほど秘密会と決定しました案件に入ります。</p> <p>～協議第 6 号について協議～</p> <p>【協議第 6 号については、秘密会のため、潟上市教育委員会会議規則第41条 2 項により別に作成する。】</p>

	11:25	閉会
--	-------	----